

赤林伸一

新潟の住まいは冬に

□5□

新潟に対応した住まいを考へる前に新潟の気候の特性や風土について触れておきたいと思ひます。

表に示したのは札幌市、新潟市、東京都、福岡市の夏と冬の温度、湿度、日照時間です。新潟の気候を特徴づけているのは、夏の高湿多湿と強い日差し、冬の低温多湿、降雪、極端に少ない日照、季節風による強風です。

新潟市の冬の温度は東京より若干低い程度です。しかし日照時間(晴れている時間を目で積算した値)は一月でわずかに六十四時間(一日に二時間しか太陽が顔を覗かさない)と東京の三割程度しかありません。

気候・風土

夏と冬両備えが必要

せん。さらに、大変強い季節風が吹きますから実際に人間が感じる温度はこれより四―六度も低いこととなります。どんなに寒くても風がなく日当たりが良ければ人はそれほど寒いとは感じません。

一方、夏は東京と同じ程度の気温で湿度も高く、日照時間は東京より二割も多く、大変暑くて日差しが厳しい気候条件です。従って新潟の気候特性

は冬は寒く、曇りの日が多く、じめじめしており北海道並みの環境で、夏は湿度が高く蒸し暑く、日差しが厳しい東京並みの環境であることが分かります。

北海道で快適な住まいを造るには冬のことだけ考えれば良い訳ですし、九州で快適な住まいを造るには夏のことだけを考へれば良い訳です。新潟で夏も冬も快適な住まいを造るには北海道の家でも、九州の家でもない新潟の気候に適した住宅を考へなければなりません。

と云うので、私の研究室では新潟の住まいや居住者を対象に以下の様な調査を行っています。例えば、暖房器具の保有の状況やその使い方を調査すると、ほとんどの家でファンヒーターなどの開放型の暖房器具(部屋の空気を燃料を燃やし、部屋に排気する暖房器具)を

使用しています。北海道や東北の北の方では、煙突付きのストーブやFF式のストーブが常識です。また、こたつや電気カーペットの普及率も高まっています。また、暖房く、家を暖房するの

よりは人のいるところだけ暖める(暖房と区別して採暖といったりします)家が大変多いことも新潟の特徴といえます。

| | | 気温 [℃] | 湿度 [%] | 日照時間 [時間] |
|-----------|----|--------|--------|-----------|
| 冬 (1月) | 札幌 | -4.9 | 74 | 106 |
| | 新潟 | 2.0 | 78 | 64 |
| | 東京 | 4.7 | 53 | 184 |
| | 福岡 | 5.7 | 67 | 104 |
| 夏 (8月) | 札幌 | 21.3 | 79 | 184 |
| | 新潟 | 25.7 | 78 | 232 |
| | 東京 | 26.7 | 75 | 187 |
| | 福岡 | 27.3 | 76 | 221 |

つみの、冬の気候条件は北海道並みのに暖房の仕方やプランは温暖地と同様なのです。このように厳しい気候条件にどのように対応し、住宅の性能や住まい方を交えていく必要があるのかを考へてみましよう。

(新潟大学工学部助教 授)

また、こたつや電気カーペットの普及率も高まっています。また、暖房く、家を暖房するの